

「学校教育審議会」資料

令和 3 年 6 月 29 日 (火)

1 京田辺市適応指導教室「ポットラック」について

- (1) 令和 3 年度適応指導教室実施要項
- (2) パンフレット
- (3) 利用の手引き
- (4) 令和 2 年度まとめ
- (5) 開設回数及び出席児童生徒数
- (6) 通室児童生徒数・通室生進路状況経年推移
- (7) 通室生人數経年推移
- (8) 通室生進路
- (9) 京田辺市適応指導教室開設の経過

## 令和3年度適応指導教室実施要項

京田辺市教育委員会

### 1 目的

本市教育委員会の所管する小・中学校において不登校となっている児童生徒を対象に適応指導教室を開設する。適応指導教室においては、心の居場所づくりを大切にし、一人一人が元気を回復し、社会の中で自立できるよう援助していく事を通して児童生徒が自らの進路を考え、学校復帰と社会的自立を支援することを目的とする。

### 2 名称

適応指導教室の名称は「ポットラック」と称する。

### 3 場所

京田辺市河原食田 10 番地 23 (近鉄新田辺駅東側福味ビル 3F)

### 4 開設日時

・毎月曜日から金曜日

午前9時から正午まで (月、火、木、金)・午前9時～午後1時45分まで (水)開設する。

(土・日祝日及び夏休み等の長期休業中は休室。但し、夏季休業中の3日間は開室)

・午後1時から終業までは、個別のカンファレンス、保護者・学校からの相談や訪問対応等の事務処理にあたる。

### 5 運営について

(1) 年度当初に指導員は教室の実態に応じた運営計画案を立てる。

(2) 運営会議を開催し、運営計画案をもとに指導員・担当指導主事の参画のもと、児童生徒の実態とニーズに基づいて検討し、柔軟且つ効果的なカリキュラムを準備する。

(3) カリキュラムの実施にあたっては、効果を検討し、柔軟且つ創意ある工夫を行う。

(4) アセスメント票をもとに、個別の指導については、関係者が連携して為し得る取組を行い、取組とその変化を記録する。月1回、市の臨床心理士によるスーパーバイズを受ける。

### 6 担当指導員の採用について

不登校児童生徒の学校復帰と将来の社会的自立への支援に向け、積極的に取り組む意欲のある人材を、選考を通して配置する。

# 京田辺市立小学校 相応指導教室 ポットラック

- ・学校へ行かなければと思いつながらも登校できないいる子ども達が、安心して活動できる居場所です。
- ・ポットラックに来ている日は、学校の出席日数となります。

ポットラック＝（それぞれの料理を持ち寄つて誰もが気軽に参加できるバーティー）＝という意味から、それぞれの持ち味を生かして「ありますますの自分」で元気を回復し、自立する力をつけていくところです。

## 【開室日時】

- ・毎週月曜日から金曜日
- ＜月・火・木・金＞  
　　9時～12時
- ＜水＞9時～13時45分

\* 但し土日・祝祭日及び学校の  
長期休業中は閉室

## 【活動内容】

- ・体験活動、軽スボーツ
- ・制作活動、読書活動
- ・集団活動
- ・自主学習、自由学習等
- ・指導体制
- ・指導員と一緒に学習や  
体験活動

## 【対象】

- ・京田辺市立小学校  
中学校に通学する  
児童生徒(希望者)

## 【開室日時】

- ・保護者とのつながり  
　　ポットラックだより発行
- ・保護者懇談
- ・必要に応じ指導員から連絡等
- 【学校とのつながり】  
　　出欠確認
- ・ポットラックだより発行
- ・連絡、情報交流
- ・担任との懇談等

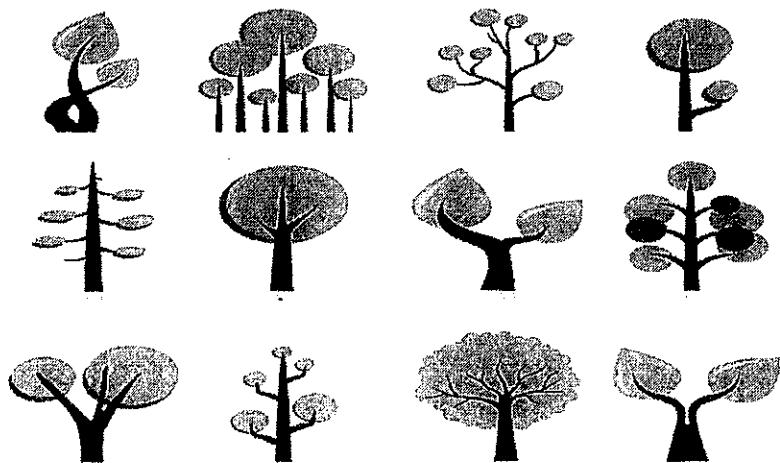
京田辺市立小学校  
相応指導教室 ポットラック



令和3年度

京田辺市適応指導教室「ポットラック」

## 利用の手引き



京田辺市教育委員会

# 目 次

1	適応指導教室「ポットラック」の概要	1
	適応指導教室「ポットラック」の利用にあたって(学校用)	2
	適応指導教室「ポットラック」入室の流れ	3
	適応指導教室「ポットラック」と学校の連携について	4
2	資料 1 通室申込書	5
	資料 2 通室路届け出について	6
	資料 3 出欠確認用用紙	7
	資料 4-1 交信票	8
	資料 4-2 交信票の返信	9
3	見学される保護者様へ	10
	ポットラックについて (児童・生徒向け案内)	11

## <資料>

- ・適応指導教室『ポットラック』所在地地図
- ・パンフレット ポットラックご案内

# 令和3年度 京田辺市適応指導教室「ポットラック」の概要

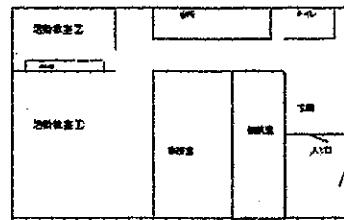
- 1 開室の経緯 平成8年度 4月～ 1箇所で週2回（中央公民館内）  
その後、中学校区に3箇所（公民館内）設置し、週2開室  
平成19年度 4月～ 1箇所に統合  
平成28年度 4月～ 近鉄新田辺駅東側に移設
- 2 所在地 〒610-0361 京都府京田辺市河原食田10-23 フクミビル  
「いきいきサポートセンター」内 3F  
TEL 0774-68-1633 FAX 0774-68-1634
- 3 運営主体 京田辺市教育委員会が運営し、学校教育課、こども・学校サポート室が日常の管理を行う。
- 4 運営状況
- (1) 教室 活動教室1・2・3、事務室、相談室、トイレ、キッチン
  - (2) 指導員
    - ・担当指導主事1名
    - ・指導員6名（當時3名勤務）〔勤務：8:45～15:45〕
    - ・学生ボランティア等の活用
  - (3) 開室日時
    - ・月・火・木・金 9:00～12:00（児童・生徒の活動時間）
    - ・水 9:00～13:45（児童・生徒の活動時間）

〔閉室〕長期休業中（夏・冬・春休み）但し、夏休み終了前に数日プレ開室
  - (4) 受け入れ定員・・・15名程度
  - (5) 基本的な1日の日程
    - 9:00～ 9:20 リラックスタイム（学習準備 等）
    - 9:20～11:20 学習・体験活動など（休憩含む）
    - 11:20～12:00 集団活動、掃除（月・木）、終学活など

\*学習は自習スタイル及び集団学習  
\*水曜日は昼食後、各児童生徒の自由課題取組など
  - (6) 年間行事等予定
    - ・1学期・・・七夕・お楽しみ会  
【夏休み中：卒業生との交流会】
    - ・2学期・・・校外学習・ハロウィン・お楽しみ会
    - ・3学期・・・書き初め・節分会、お楽しみ会（送る会）

【毎月定例】スポーツ（体育館）・読書（図書館） 等

【随時】誕生日会・調理実習・外遊び・散歩・制作・通室児童生徒に応じた体験活動 等
  - (7) 出席扱いについて  
ポットラックに通室した日は、在籍校において出席扱いとなる（出席状況等の連絡）
  - (8) 学校・保護者連携  
学校連携会議・保護者懇談
  - (9) スーパーバイズ  
スーパーバイザー市教委臨床心理士によるスーパーバイズを受け、指導の共通理解を図りながら、個に応じた指導を行う。



# 令和3年度 適応指導教室「ポットラック」の利用にあたって（学校用）

## 1 設置の目的

不登校傾向及び不登校状況にある児童生徒に居場所を提供し、様々な活動を通して元気や自信を回復し、学校や保護者と連携して学校復帰と社会的自立を目指す。

## 2 入室の流れについて

（別紙「適応指導教室ポットラック入室の流れ」参照）

- ・学校で支援方針を話し合い、アセスメントシートを作成・提出して市教委にご相談下さい。  
(相談の際に、スクールカウンセラー等の専門家の見立てがあるとよい)
- ・相談の上で、ポットラック利用が適当と判断される場合に、保護者や本人にポットラックを紹介して下さい。
- ・保護者と本人のインターク面接・見学・体験入室を行います。
- ・その上で入室を希望された場合は、ポットラックから保護者に『通室申込書』と『通室路の届け出について』の2通を配布します。
- ・保護者は、2通の書類を、学校に提出されますので、学校は『通室申込書』のコピーと、『通室路の届け出について』(学校長捺印)の原本を、市教委に提出して下さい。
- ・「前年度登録児童生徒」の場合も年度毎に面談・登録が必要です。
- ・新たに入室が決定した児童生徒については、入室時に学校と入室会議を行い、児童生徒の理解を深め指導の方向性を確認します。

## 3 ポットラックと学校の連携

（別紙「適応指導教室ポットラックと学校の連携について」参照）

- (1) 毎日の連絡・・・ポットラックから学校へ、毎日の出欠状況をFAXで報告します。  
(忌引、出停等の場合は、備考欄にその旨記入します。)
- (2) 毎月の連絡
  - ・ポットラックから学校へ、ポットラックでの様子を「交信票」で報告します。
  - ・学校からポットラックへ、学校での様子を「交信票」に記入してお返しください。
  - ・「ポットラックだより」を配布し、ポットラックでの様子をお知らせします。
- (3) 会議等・・・学校連携会議を学期1回程度行います。
- (4) ポットラックの見学・・・事前連絡をいただければ、いつでも通室児童生徒の活動の様子を見学できます。

## 4 児童生徒への支援

- (1) 学校とは情報交換を密に行い、児童生徒の支援に生かします。スクールカウンセラー等との連携についても必要に応じて行います。
- (2) 児童生徒の学校行事（修学旅行、定期テストなど）への参加や別室登校、放課後登校などについて、学校と連携を行い、児童生徒を支援していきます。

## 5 通室児童生徒の扱い

- (1) 出欠の扱い  
ポットラックに通室した日は、在籍校では「出席扱い」となります。
- (2) 安全上の留意点

- ・ポットラックでの活動及び通室中における事故災害については、学校で加入の保険適用内になります。事故等があれば、速やかに各在籍校に連絡をします。
  - ・通室上の安全については保護者の責任としますが、通室手段は在籍校で指導願います。
  - ・小学生については、保護者の送迎を原則とします。
- (3) 服装は、自由です。（活動しやすい服装と運動靴）

## 6 保護者との連携について

- (1) 入室前に、インターク面接・見学・体験入室を実施します。
- (2) 毎月「ポットラックだより」を発行し、予定や活動の内容を報告します。
- (3) 学期1回程度、保護者懇談を実施します。

# 令和3年度 適応指導教室「ポットラック」入室の流れ

## 【学校で支援方針の話し合い】

- ・「アセスメントシート」(市様式)を作成してください。
- ・話し合いをする際には、スクールカウンセラー等の専門家に相談することが望ましい。



## 【市教委に相談】

- ・学校で作成された「アセスメントシート」を市教委にご提出ください。
- ・前年度からの通室生も、更新されたアセスメントシートをご提出ください。



### 新規の場合

## 【ポットラックを紹介】

- ・学校が、ポットラック利用が適切と判断された場合に紹介してください。
- ・市教委との相談無しでは、紹介しないでください。

### 前年度通室生の場合

## 【保護者と本人の面談】

- ・保護者・本人と市教委担当・ポットラック指導員による面談を行います。
- ・日時の調整は、市教委担当と保護者とで直接行います。



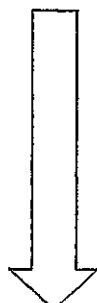
## 【保護者と本人のインテーク面接】

- ・保護者・本人と市教委担当による面接を行います。
- ・日時の調整は、学校を通して行います。



## 【本人の見学・体験入室の実施】

- ・日時の調整は、市教委と保護者とで直接行います。



## 【保護者と本人とが入室を希望された場合】

- ・ポットラックから保護者に『通室申込書』と『通室路の届け出について』の2通を配布します。学校からは、渡さないでください。



## 【保護者は、学校に書類を提出】

- ・『通室申込書』と『通室路の届け出について』を提出。



## 【学校は、市教委に書類を提出】

- ・保護者から書類の提出があった場合、学校は速やかに次の書類を市教委にご提出ください。
- 『通室申込書』のコピー ■『通室路の届け出について』(学校長捺印)の原本

# 令和3年度 適応指導教室「ポットラック」と学校の連携について

## ポットラックと学校の連携

学校とポットラックが通室生の情報交流を年間通して行うことで、児童生徒の理解を一層深め、一人一人の児童生徒の学校復帰や社会自立に向けて適切な指導や支援を進められるようにする。



新規の場合



前年度通室生の場合

### 入室決定・登録

### 年度当初面談・登録



#### 【学校とポットラックとの入室会議】

新たに入室が決まった当初に開催

- ・学校（担任等）とポットラックとが、アセスメントシートを用いて、入室児童生徒についての理解を深め、今後の指導の方向性について確認する。



#### 【1学期学校連携会議】

- ・学校（担任等）とポットラックとが、1学期の児童生徒の様子を交流し、次の指導や支援に生かす。前年度からの継続の通室生の場合は、早い時期に行う。



#### 【2学期学校連携会議】

- ・学校（担任等）とポットラックとが、2学期の児童生徒の様子を交流し、次の指導や支援に生かす。



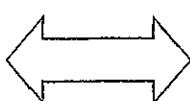
#### 【3学期（年度末）の学校連携】

- ・必要に応じて学校とポットラックの連携の場を持つ。  
(例) 小学校6年生が中学校に入学する時、ポットラックに殆ど出席できていない 等

#### 【日常的な連携】

##### 【ポットラック】

- ・毎日：出欠をFAXで送信
- ・月末：交信票を送付  
ポットラックの出欠や状況
- ・電話、メール等で連絡
- ・「ポットラックだより」



##### 【学校】

- ・月初め：交信票を送付  
学校の出欠や状況
- ・電話、メール等で連絡
- ・ポットラックの見学

## 適応指導教室「ポットラック」通室申込書

		令和 年 月 日
京田辺市立	学校長 様	保護者氏名 印
適応指導教室「ポットラック」への通室をお願いします。		
ふりがな 児童生徒氏名		年 月 日 生
	(男 女)	
現住所	京都府京田辺市	
ポットラックで渡します		
緊急連絡先		
在籍校	学年 組	担任名

※ 学校関係者の方へ

「通室申込書」は学校で保管（コピーを教育委員会に提出）

「通室路の届出について」は原本を教育委員会に提出

令和 年 月 日

京田辺市教育委員会

教育長 山岡 弘高 様

京田辺市立

校長

学校

印

### 通室路の届け出について

本校児童生徒の「ポットラック」への通室について下記のような経路で通室することをお届けします。

記

ふりがな					
学年 組 氏名			担任名		
( 男 ) 女					年 月 日 生
現住所 〒	京都府京田辺市		自宅	0774-	-
緊急時連絡先	母:	父: その他 ( 航空機からの略図、目印も記入 )			
ポットラックへの通室経路					
通室時間約 分					

※ 学校関係者の方へ

「通室申込書」は学校で保管（コピーを教育委員会に提出）

「通室路の届出について」は原本を教育委員会に提出

# ○○○学校 ご担当の先生へ

お世話になります。ポットラック通室生徒の出欠の報告をします。

○月

氏名	A・A		備考
	学年	○年○組	
/ 曜日 行事／担任	○○先生	○○先生	
1 水 ロングデー			
2 木			
3 金 体育館			
4 土			
5 日			
6 月			
7 火			
8 水 ロングデー			
9 木			
10 金			
11 土			
12 日			
13 月			
14 火			
15 水 ロングデー			
16 木			
17 金 お楽しみ会			
18 土			
19 日			
20 月			
21 火			
22 水 ロングデー			
23 木			
24 金 修了式			
25 土			
26 日			
27 月			
28 火			
29 水			
30 木			
31 金			

# 学校 ⇒ ポットラック 交信票(令和 年 月)

\*ポットラックにご返送ください。

児童・生徒: 年 組 名前(イニシャルで)

出席状況(記入例) 学校に登校⇒○ 別室に登校⇒別 放課後投稿⇒放		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
家庭訪問や学校での様子・ポットラックへの連絡 等																

児童・生徒: 年 組 名前(イニシャルで)

出席状況(記入例) 学校に登校⇒○ 別室に登校⇒別 放課後投稿⇒放		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
家庭訪問や学校での様子・ポットラックへの連絡 等																

児童・生徒: 年 組 名前(イニシャルで)

出席状況(記入例) 学校に登校⇒○ 別室に登校⇒別 放課後投稿⇒放		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
家庭訪問や学校での様子・ポットラックへの連絡 等																

児童・生徒: 年 組 名前(イニシャルで)

出席状況(記入例) 学校に登校⇒○ 別室に登校⇒別 放課後投稿⇒放		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
家庭訪問や学校での様子・ポットラックへの連絡 等																

児童・生徒: 年 組 名前(イニシャルで)

出席状況(記入例) 学校に登校⇒○ 別室に登校⇒別 放課後投稿⇒放		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
家庭訪問や学校での様子・ポットラックへの連絡 等																

ポットラック ⇒

学校 交信票(令和 年 月)

\* 学校で保管してください。

児童・生徒: 年 組 名前(イニシャルで)

【ポットラックから学校へ【ポットラックでの活動内容・様子 等(記入の観点:来室時間・方法・服装・学習・活動等の内容や様子)】】

# 見学される保護者様へ

ポットラックは、お子さまが元気を回復し、学校への復帰と社会的自立を目指す場所です。

これらの目標は、保護者様のご理解やご協力があってこそ、目指していけるものです。つきましては、ポットラックでの活動を意味あるものにするべく、以下のことをご了承の上、通室をご希望ください。

## ＜通室決定前にご理解いただくこと＞

- 籍は在籍校にあります。通室した日については、学校の出席とみなされます。  
(出欠を学校に報告しています)
- ポットラックでの様子は学校に報告し、連携をとって学校復帰と社会的自立を支援します。
- ポットラックでの指導を円滑に行うため、または不慮の事態にそなえて、お子さまに医療機関への通院、もしくは、身体的・精神的配慮事項(アレルギー等)がある場合には、必ず指導員にその旨お伝えください。
- ポットラックでは、保護者様との懇談を学期1回程度予定しております。ポットラックでの活動や成長の様子をお伝えし、家庭での過ごし方をお尋ねします。お子様の成長を保護者様と共有することは、お子様の何よりの応援になると考えています。
- お車でお越しの際には、専用駐車場(フクミビル前)に駐車をお願いします。1台しか駐車できませんので駐車がある場合は、近くの有料駐車場をご利用ください。
- 次年度も通室を希望される場合は、学校と相談の上、年度当初に再度面接登録が必要です。

## ＜通室決定後のお願い＞

- 通室上の安全につきましては、保護者責任においての送迎、登下校となります。
- 服装は自由です。戸外での活動もありますので動きやすい服装と運動靴をお願いします。
- 行事等での経費は、実費で自己負担していただくことになります。
- 教室で、携帯電話等の使用は禁止しています。
- おもちゃやゲームなど個人所有の遊び道具の持ち込みは認めません。
- 欠席される場合は、ポットラックまで必ずご連絡下さい。

京田辺市教育委員会 適応指導教室ポットラック

河原食田10番地23 フクミビル3F

近鉄新田辺駅東側出口より、北へ約200m

(京田辺市いきいきサポートセンター内)

TEL (0774) 68-1633 (ポットラック)

(0774) 64-1325 (子ども・学校サポート室)

# ポットラックについて

(児童・生徒向け案内)

ポットラックは、以下のようなスケジュールで活動しています。

## ☆ 開室日時 ☆

毎週月曜日～金曜日

祝祭日及び年末年始、学校長期休業中(夏・冬・春休み)はのぞく。

ただし、2学期始業式前に数日プレ開室を行う。

\*月・火・木・金曜日・・・9時～12時まで

\*水曜日 ・・・ 9時～13時45分まで

時間割		
月 火 水 金	リラックスタイム	9:00～9:20
	学習・体験活動等	9:20～10:10 (50分)
		10:30～11:20 (50分)
	清掃 (月・木)	11:20～11:30
	集団活動・終学活	11:30～12:00
	昼食・休憩	12:00～13:00
	自習	13:00～13:45

\*水曜日 (long day) の午後は、各自の自由課題に取り組みます。

\*行事等の都合で、時間を変更することがあります。

(変更の場合は、事前に連絡いたします。)

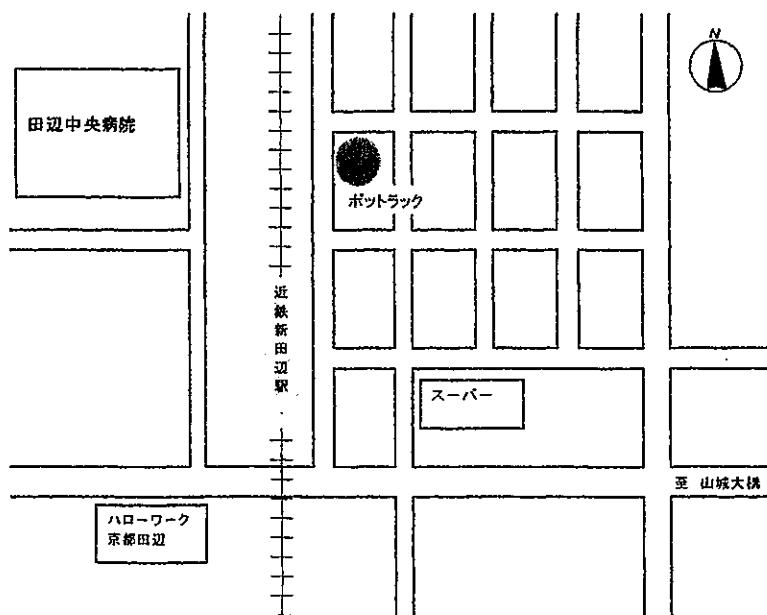
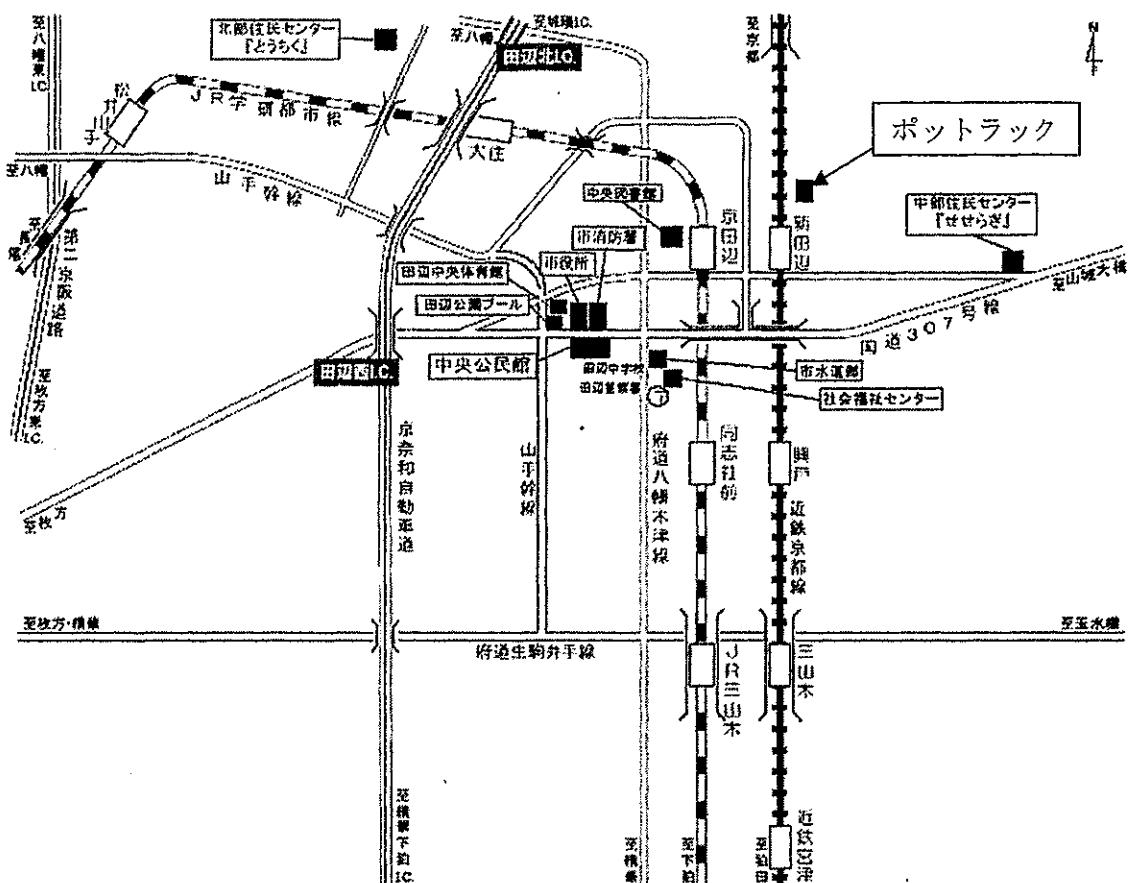
## ☆ 主な年間の行事等の予定 ☆

1学期	七夕・お楽しみ会
(夏休み中)	卒業生との交流会
2学期	校外学習・ハロウィン・お楽しみ会
3学期	書き初め・節分会・お楽しみ会(送る会)

◇毎月定例：スポーツ(体育館)・読書(図書館)等

◇随時：誕生日会・調理実習・外遊び・散歩・制作等

\*この他にも、通室している児童生徒に応じた体験活動を行っています。



〒610-0361 京都府京田辺市河原食田 10-23

近鉄新田辺駅東側「いきいきサポートセンター」内 3F

TEL 0774-68-1633 FAX 0774-68-1634

# ポットラック 令和2年度まとめ

## 1 令和2年度の状況

### (1) 入室者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中学男子	0	0	1	3	3	4	4	4	4	4	5	5
中学女子	0	0	2	2	2	2	2	(1)3	3	3	3	3
小学男子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学女子	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	0	0	5	7	7	8	8	(1)9	9	9	9	9

\* ( ) は該当月の今年度新規入室者で内数

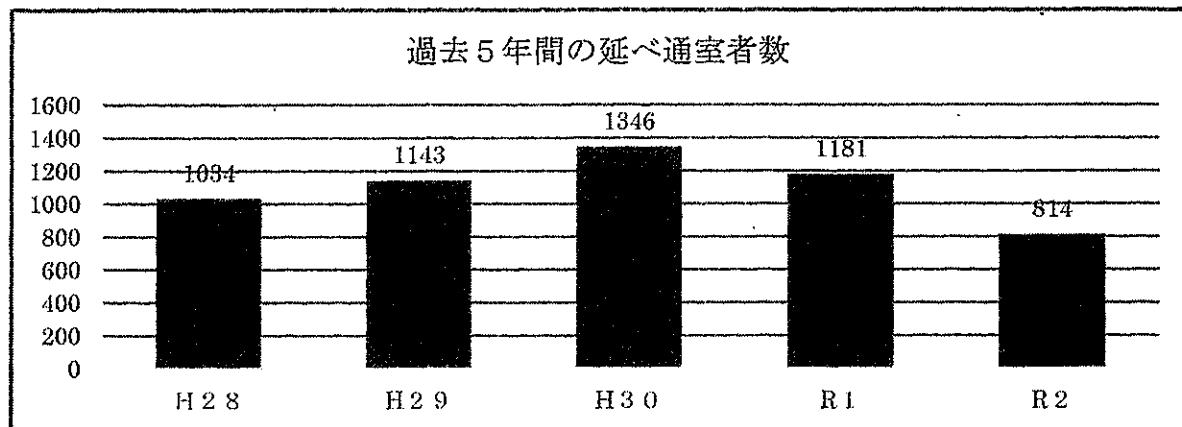
### (2) 相談等件数

	入室生保護者		入室生など			学校連携		見学など		合計
	電話	来室	在室生 電話	卒室生 電話	卒室生 来室	電話 (FAX 含)	来室	電話	来室	
4月	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
5月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
6月	18	0	0	1	3	49	3	2	11	87
7月	25	5	0	1	2	76	0	2	8	119
8月	21	3	0	1	0	46	0	0	0	71
9月	40	2	4	3	3	85	3	0	5	145
10月	29	0	2	2	1	90	6	0	0	130
11月	24	2	2	1	1	80	0	0	6	116
12月	17	3	0	1	1	64	0	0	3	89
1月	24	0	3	1	2	64	0	0	0	94
2月	29	3	0	0	0	77	0	2	5	116
3月	35	3	2	0	3	68	0	0	5	116
合計	262	21	13	11	17	701	12	6	43	1086

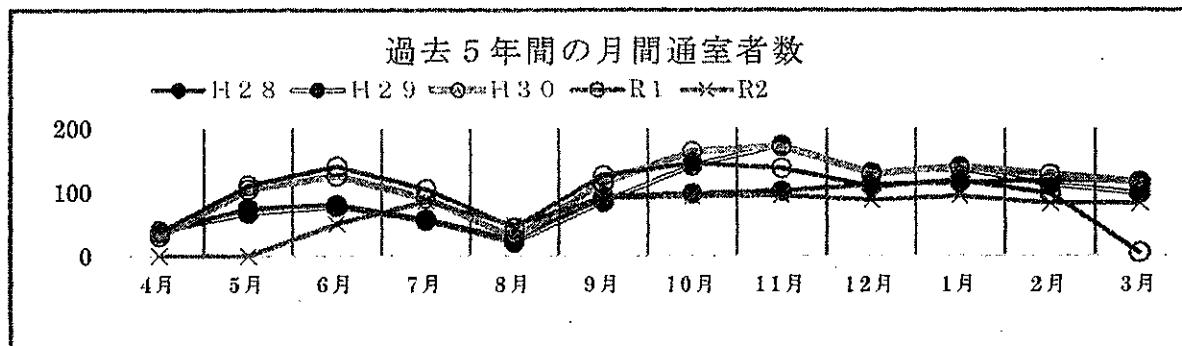
※ 学校連携欄 各校への(FAX)による出欠連絡を含む。

※ 4月、5月は、学校の臨時休業日と同じ扱いとする。

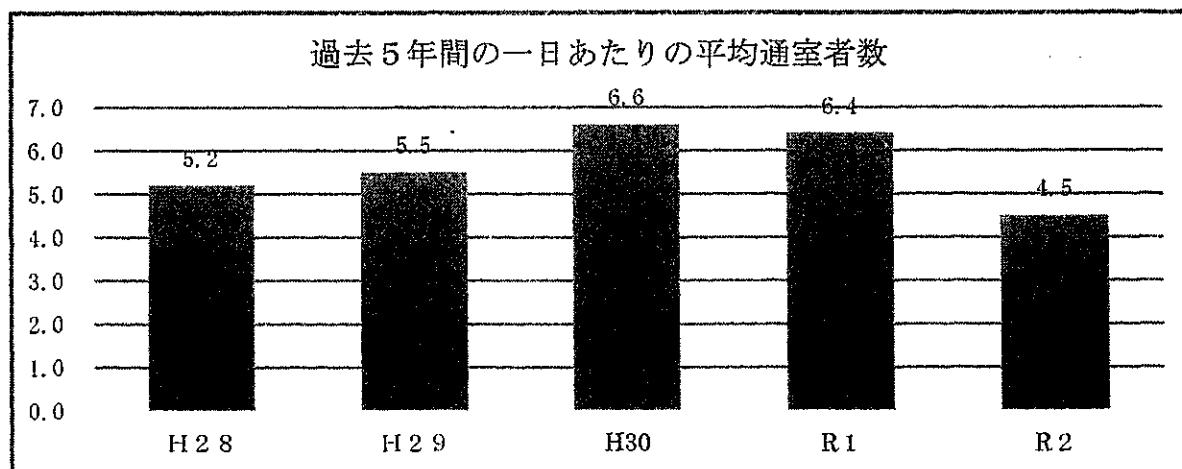
(3) 延べ通室者数



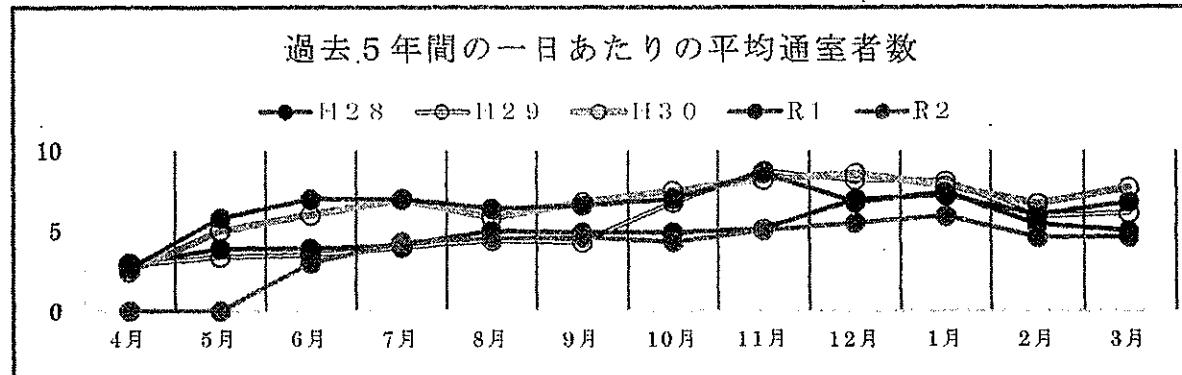
(4) 月間通室者数



(5) 一日あたりの平均通室者数①



一日あたりの平均通室者数②



## 2 令和2年度のまとめ

### (1) 児童生徒（通室生）の実態について

- 前年度から継続で通室している児童生徒の割合が高いため、子ども同士が互いの個性を理解し合い、より良い人間関係を築きつつある。このような中で、一人一人のポットラックの出席率には差があるものの、ポットラックが居場所となり安心して過ごすことができていた。
- ポットラックに通室しながら、放課後登校や別室登校等により登校できていた児童生徒が多く、登校時の学校の様子などをポットラックで交流することで、学校に対する意識が高まった。また、登校できていない児童生徒についても登校している友だちの話を聞くことで、登校に対する良い刺激を受けているように見られた。
- 通室生の構成が、小学校6年生と中学生とで占められている。思春期を迎えている子どもたちの中で、男女別のグループも成立してきたが、男女間の仲も良く一つにまとまって集団活動をすることもできている。また、中学生の中では、先輩と後輩という意識も生まれ、互いに良い距離感を保っている。集団活動や学習の場面で互いに教え合う姿も見られ、前向きに取り組んでいた。
- 互いの関わりの中で、友だちへの思いやりのある言葉かけや心遣いを示したり、周囲の友だちの様子を気遣いながら、自分なりに自己主張や自己決定を表現できることも多くなり、個々のコミュニケーション力が高まる様子が見られた。

### (2) 児童生徒（通室生）の支援について

- 指導員は、子どもたちの日々の言動に目を向け、その様子について常に情報共有するように心がけている。毎月のスーパーバイズでは、臨床心理士のカンファレンスを受け指導の方向性を確認しながら、個に応じた適切な支援を進め、子どもたちが安心して通室できるように努めた。
- 気がかりな言動があった子どもについては、保護者と情報連携を行い、家庭とポットラックと共にその子どもの様子について理解し配慮できるように努めた。
- 学習については、個々の子どもの学習に向かう主体性や意欲・興味を大切に支援してきた。中学校3年生の生徒が受験に向けて主体的に学習に取り組む姿に、他の子どもたちも自分の学習課題に前向きに取り組もうとする雰囲気や意識が高まってきた。
- 活動場面のそれぞれの過程を通して、子どもたちが他の友だちとの関わりの中で、自己表現や自己決定・自己選択などができるように、また、個々の意見を話し合いによって一つの方向にまとめていくことができるようになるなどの視点を持ち、集団の中で一人一人の子どもたちの力が育まれるように支援した。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた非常事態宣言による臨時休業が長期間となったので、通室開始の6月からは、いつも以上に新型コロナ感染症に関する不安が無いか配慮していくが、子どもたちは大きな不安を訴えることはなく安心して通室していた。また、朝の健康観察や手洗いや黙食などの指導の徹底とともに、教室の消毒や換気などの衛生管理も十分行った。
  - ・不登校傾向の児童生徒の状況は個々様々であるので、その解決に向けては長期的な視点を大切にして、子どもたちに寄り添い支援を続けていきたい。

### (3) 学校との連携について

- 日常的な取組は、毎日のFAXによる出欠連絡と毎月末に文書（交信票）による情報交流を行った。
- 学校の儀式的行事（始業式・終業式）等については、ポットラックでも簡略化した式を行い、通室生が学年や学期の始まりや締めくくりを意識できるようにした。
- 学校の諸行事や定期テスト、三者面談、別室登校、放課後登校等にチャレンジする児童生徒の中には、日常的な登校につながりつつある者もいる。しかし、通室していく中々登校にはつながらないケースもあり、長期的な展望の中で子どもたちを見守り支援していくことを今後も大切にしたい。
- ・学校が作成したアセスメント票が、個々の児童生徒の支援に効果的に活用できるように工夫していきたい。

- ・学校連携会議は、今年度2学期のみの実施となった。今後、学校（教育相談や担任の先生）との情報共有を密に行い、個々の児童生徒の理解を深めより良い指導に生かしていきたい。

#### （4）保護者との連携について

- 学期毎に、保護者との個別懇談を行った。ポットラックと家庭での子どもの様子を交流し理解を深めるとともに、保護者の思いや悩みについて受け止める機会とした。保護者との信頼関係を大切に築きながら、保護者が子どもを安心して通室させることができるように努めた。
- 日々のポットラックでの生活の中で、気になる行動が見られる子どもについては、その日の内に保護者に連絡して様子を伝えるようにした。
- 保護者からの電話や来室による相談については、その都度相談活動を行った。保護者自身も子どものことで悩んだり困り感があるため、カウンセリングマインドの視点を大切にお話を伺う中で、保護者が気持ちを持ち直されるケースが多かった。

#### （5）プログラムについて

- 子どもたちは、基本的な一日のプログラムを意識して生活できていた。朝のリラックスタイムでは、個々の健康観察を大切にした。

##### ＜学習について＞

- 学習時間に前向きに自分の課題に取り組む姿勢が育ってきた。受験勉強に向かう中学3年生の姿や中学校の定期テスト等にも良い影響を受け、学習に向かおうとする気持ちが向上した。

- 指導員も情報推進室の研修を受けて、後期から学習時間にタブレットを活用した。興味のある児童生徒は、タブレットを活用することで学習意欲につながった。

##### ＜活動について＞

- 集団活動では、全員が一つの活動に向かい、コミュニケーションを図りながら進めようとする子どもたちの姿も見られ、互いの人間関係の深まりを感じた。

- 手作り工作や理科実験などの制作や体験活動に取り組み、児童生徒の経験値や意欲興味を高めることができた。柔軟な計画の中で、制作等が得意でない子どもも無理なく取り組むことができ楽しんでいた。表現の過程では自分なりに取り組み、友だちから認められることで少しづつ自信が持てるようになってきた。

- 野外活動では体を動かす機会として、月1回のスポーツ活動に取り組み子どもたちは積極的に参加していた。また、制作活動（凧揚げ・大シャボン玉等）とも関連して、公園で活動する機会を増やすことができた。次年度も体を動かす活動を機会を増やせるように努めたい。

##### ＜その他＞

- 終学活で一人一人の子どもの誕生日のお知らせをすると、周りの子どもから自然に拍手が湧き、友だちの存在を大切に思う気持ちが伝わり温かい人間関係が育まれている。

- ・校外学習・調理実習・夏の交流会などの行事を例年大切にしてきたが、新型コロナウイルス感染症予防のため実施を見送った。次年度は状況を見ながら実施に向けて検討していきたい。

#### （6）実習生・学生ボランティアについて

- 同志社大学との連携の中で、実習生4名・学生ボランティア2名が、通室生とともに活動に参加した。実習生や学生ボランティアとの交流や学習支援等の関わりから、子どもたちは良い影響を受けた。

- ・今年度は、緊急事態宣言等で、大学も例年とは異なる状況であったため、学生ボランティア募集の依頼ができなかったが、今後も学生と通室生との関わりを大切にしていくために大学との連携を進めていきたい。

#### （7）ポットラックの環境及び設備等について

- 新学習指導要領の実施に伴い教科用図書の入れ替えを行うことができた。

- 活動に使う教材等については、必要に応じて購入準備ができた。

- 保健衛生面で使用する消耗品等は、確実に揃え衛生管理の徹底ができた。

- ・活動場所としては、多様な活動を全員で行う際にも対応できる広いスペースが必要と感じる。

- ・制作や実験などで必要な備品について、学校からの借用なども相談していきたい。

## 適応指導教室の開設回数及び出席児童・生徒数

平成30年度

(2) 適応指導教室の開設回数及び出席児童・生徒数

適応指導教室 (ホットラック)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		開設回数	13	21	13	5	17	22	21	15	18	19	15	200

適応指導教室 (ホットラック)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		開設回数	16	19	20	14	5	19	21	20	17	18	18	188

(2) 適応指導教室の開設回数及び出席児童・生徒数

令和元年度(平成31年度) (2) 適応指導教室の開設回数及び出席児童・生徒数

適応指導教室 (ホットラック)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		開設回数	16	19	20	14	5	19	21	20	17	18	18	188

適応指導教室 (ホットラック)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		開設回数	38	111	141	105	45	126	146	138	109	119	98	5

\* 交流会ヒフレ開室は除く

\* 3月3日(火)～コロナウイルス感染防止対策による国の緊急事態宣言により臨時休業  
ボットラックも開室、3月2日(月)のみ開室

(2) 適応指導教室の開設回数及び出席児童・生徒数

適応指導教室 (ホットラック)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		開設回数	0	0	22	20	11	20	22	19	16	16	18	182

適応指導教室 (ホットラック)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		開設回数	0	0	51	86	49	91	94	95	88	94	83	814

令和2年度

(2) 適応指導教室の開設回数及び出席児童・生徒数

適応指導教室 (ホットラック)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		開設回数	0	0	22	20	11	20	22	19	16	16	18	182

適応指導教室 (ホットラック)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		開設回数	0	0	51	86	49	91	94	95	88	94	83	814

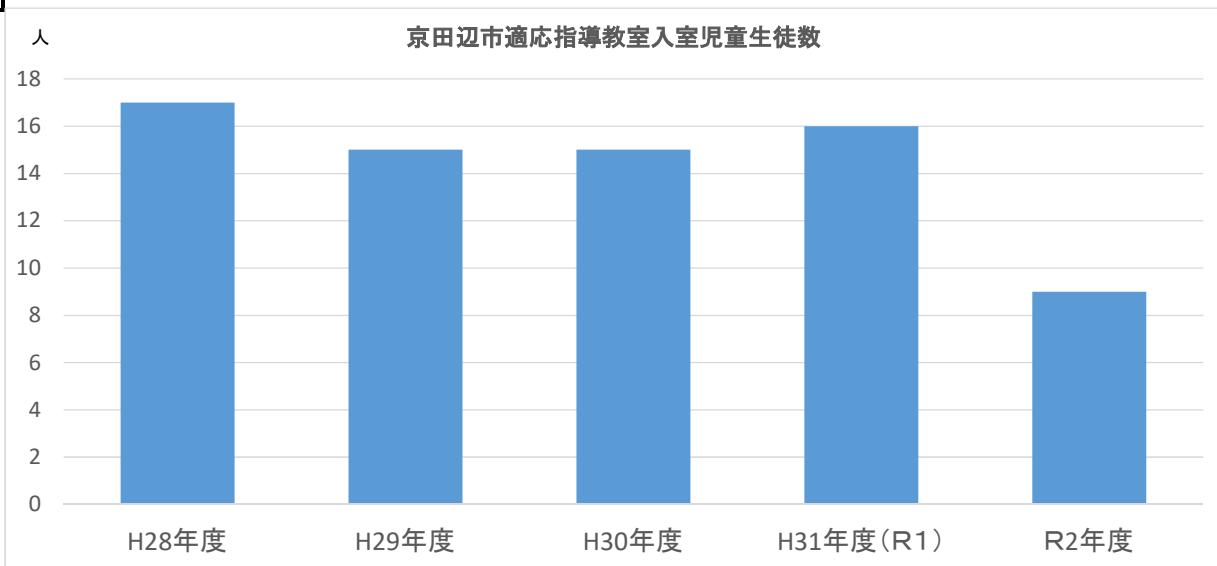
\* 4・5月学校コロナウイルス感染防止対策による国の緊急事態宣言により臨時休業(ボットラックも開室)

1学期	6月1日(月)～8月7日(金)	* 6月1日(月) 令和2年度第1学期始業式
2学期	8月24日(月)～12月22日(火)	
3学期	1月7日(木)～3月24日(水)	
	中学検卒業式 3月12日(金)	
	小学校卒業式 3月22日(月)	

8月開設回数	11回	の内訳
1学期	5回	25人
2学期	6回	24人

資料

\* 京田辺市適応指導教室通室児童生徒数



\* 京田辺市適応指導教室通室生進路状況

卒業年度	通室卒業生 人数(人)	進路状況				
		公立高等学校	私立高等学校	個別の状況		
H28	3	0	3	京都美山高等学校	私立	通信
				京都翔英高等学校	私立	FAクラス(フリーアカデミー)
				京都翔英高等学校	私立	FAクラス(フリーアカデミー)
H29	6	2	4	華頂女子高等学校	私立	
				京都府立京都八幡高等学校	公立	
				京都廣学館高等学校	私立	通信
				京都廣学館高等学校	私立	通信
				京都府立城陽高等学校	公立	
				鹿島学園高等学校	私立	通信
H30	2	0	2	京都つくば開成高等学校	私立	通信
				京都廣学館高等学校	私立	通信
H31(R1)	4	1	3	京都廣学館高等学校	私立	通信
				京都府立清明高等学校	公立	
				クラーク記念国際高等学校	私立	
				京都つくば開成高等学校	私立	通信
R2	1	0	1	京都美山高等学校	私立	通信

## 京田辺市適応指導教室通室生人数経年推移

20210303

平成30年度 京田辺市適応指導教室通室生(人数)

## 平成30年度通室生(小学校)

		田辺小		三山木小		松井ヶ丘小		薪小		桃園小		計	4	5	6	計	継 新
		5	6	4	5・6	4	5・6	5	6	5	6						
男	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	2	1
	新規	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	2
女	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	3
	新規	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	2	4
計		1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	6	6	6

## 平成30年度通室生(中学校)

		田辺中			大住中			培良中			計	1	2	3	計	継 新	
		1	2	3	1	2	3	1	2	3							
男	継続	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3	2	1	2	5	3	2
	新規	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	4	1	3
女	継続	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	0	0	4	5
	新規	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	2	0	6	9
計		2	3	1	0	0	1	2	0	0	9	9	9	9	9	9	9

令和元年度 京田辺市適応指導教室通室生(人数)

20200116

## 令和元年度通室生(小学校)

		田辺小		三山木小		松井ヶ丘小		薪小		桃園小		計	5	6	計	継 新
		5	6	5	6	5	6	5	6	5	6					
男	継続	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	3	2
	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	3
女	継続	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	2	5	7
	新規	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	2	7	7	7	7

## 令和元年度通室生(中学校)

		田辺中			大住中			培良中			計	1	2	3	計	継 新		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3								
男	継続	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3	1	2	2	5	3	2	
	新規	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1	1	2	4	4	0	
女	継続	0	1	2	1	0	0	0	0	0	4	0	2	3	4	9	7	2
	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		0	2	4	2	0	0	0	1	0	9	9	9	9	9	9	9	

1	2	3	計
男	1	2	2
女	1	1	2
	2	3	9
	3	2	5
	4	0	4
	7	2	9

継 新
小
5
2
中
7
2
12
4

令和2年度 京田辺市適応指導教室通室生(人数)

20210303

	学校	田辺小		三山木小		松井ヶ丘小		薪小		桃園小		計	5	6	計	継 新
		5	6	5	6	5	6	5	6	5	6					
男	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	継続	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

## 令和2年度通室生(中学校)

		田辺中			大住中			培良中			計	1	2	3	計	継 新	
		1	2	3	1	2	3	1	2	3							
男	継続	0	0	1	2	1	0	0	0	0	4	2	1	1	4	4	0
	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女	継続	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	2	1
	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		2	0	1	2	2	0	0	0	0	7	7	7	7	7	7	

継 新
男
4
0
女
2
1
6
1
7
1
8
1

	年度	教室数	場 所	対象児童生徒	開室日数
平成	8	1カ所	中央公民館	市内小中学校	週2日
	～14	2カ所	中央公民館 ----- 北部住民センター		週2日
	15～18	3カ所	中央公民館 ----- 北部住民センター ----- 中部住民センター(9月から開室)	田辺中学校区 大住中学校区 培良中学校区	週2日 火・木 9:00～12:00
	19～27	1カ所	興戸北鉢立31	市内小中学校	週5日 月・火・木・金 9:00～12:00 水 9:00～14:00
	28～	1カ所	河原食田10番地23 フクミビル3F	市内小中学校	週5日 月・火・木・金 9:00～12:00 水 9:00～14:00

昭和49年中央公民館開設  
 平成元年北部住民センター開設  
 平成14年中部住民センター開設